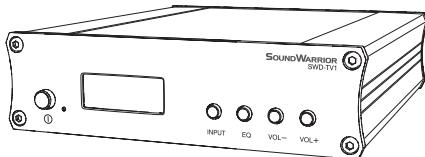


# SOUNDWARRIOR

テレビ用アンプ

## SWD-TV1

### 取扱説明書



本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書では、本機を正しくお使いいただくための設定手順を説明します。

**お困りの時は** 弊社サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

■ SWD-TV1 の接続説明ページ

<https://soundwarrior.jp/swd-tv1-opt>



■ メールでのお問い合わせ [userinfo@shiroshita.com](mailto:userinfo@shiroshita.com)

#### 目 次

安全上のご注意	2
特長	3
ご使用の前に	4
設定に必要なもの	4
接続例	5
各部の名前	
・前面	6
・背面	7
基本操作	8
ディスプレイ	
・音声信号情報	9
・EQ モード（イコライザ）	10
・リモコン学習モード / 設定モード	10
設定のしかた	
接続可能なテレビ	11
・「光デジタル音声出力端子」搭載テレビ	12
・「ヘッドホン端子」搭載テレビ	17
・「オーディオ出力端子（音声出力端子）」搭載テレビ	19
スピーカーを接続する	21
サブウーファーを接続する	23
テレビリモコンでの操作設定	
1、リモコン自動学習モード	24
2、リモコン手動学習モード	25
設定	27
お困りの時は	28
主な仕様	31
保証規定	32
アフターサービス	32

# 安全上のご注意

## 安全上の表示説明

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

### ！警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

### ！注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

### △ 注意

注意すること

### ○ 禁止

してはいけないこと

### ● 指示

必ず行うこと

### ！警告



ACアダプターを  
コンセントから抜く

異常が発生したらすぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 煙やにおい、異音がするとき
- 機器に水がかかったとき
- 落としたり破損したりしたとき

直ちに使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。



風呂場での使用禁止

風呂場やシャワー室で使用しない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



水濡れ禁止

屋外で使用しない

花瓶や液体の入った容器をそばに置かない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



分解禁止

カバーやパネルを外さない

改造しない

火災・感電の原因となります。

本機や AC アダプターの放熱を妨げない

布をかけたり、狭い場所や通気性の悪い場所に設置したりしないでください。

火災の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものを載せたり、無理に曲げたりしない

コードの破損により、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら触れない

感電の原因となります。



禁止

長時間、大音量で聴かない

聴覚障害の原因となります。

## ⚠ 警告



指示

AC アダプターはコンセントに確実に差し込む

AC アダプターのプラグは定期的に清掃する

プラグとコンセントの周囲にはこりが付着すると火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意



ぬれた手で触れない

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源に付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

AC アダプターを抜くときはコードを引っ張らない

コードが損傷し、火災・感電の原因になります。



禁止

不安定な場所に設置しない

落下によるけがの原因となります。

湿気やほこりが多い場所に設置しない

調理台や加湿器のそば、油煙や湯気が当たる場所などに設置しない

火災・感電の原因になることがあります。

長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く



指示

接続する音響機器は取扱説明書に従って使用する

電源を切る前に音量を最小にする

音量を絞ってから入力機器を接続する

電源を入れた時に大きな音が出ると、聴覚障害や機器の故障の原因となります。

## 特長

本機は、テレビボードやラックに收まりやすいコンパクトなテレビ用アンプです。テレビの音声出力端子に合わせて「光入力(デジタル)」または「AUX入力(アナログ)」のいずれかをつなぐだけで、いつものテレビの音を手軽に高音質化してお楽しみいただけます。

操作性にもこだわり、対応メーカー製のテレビリモコンの信号を本機に学習させる機能を搭載しました。これにより、テレビのリモコンで本機の電源操作や音量調節が可能になります。また、視聴環境や映像コンテンツに合わせて選べる3種類のEQ(イコライザー)モードを備えており、シーンごとに最適な音質に切り替えられます。

さらに、スピーカー出力に加えてサブウーファー出力端子も装備しているため、お好みのスピーカー・サブウーファーと組み合わせて、より迫力あるシステムへと拡張することも可能です。

# ご使用の前に

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、この取扱説明書をお読みください。またお読みになったあとは、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

## 1 付属品

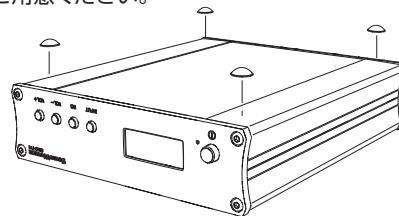
本製品に同梱の付属品をご確認ください。

- AC アダプター 1 個
- 角型光デジタル音声ケーブル 1 本
- オーディオミニプラグケーブル 1 本
- ゴム足 4 個
- ダミープラグ 1 個
- 取扱説明書 1 冊

ご使用になる外部機器と本機との接続コードは、別途ご用意ください。

## 2 ゴム足を取り付ける

付属のゴム足を本体の底面に貼りつけてください。



## 3 設置する

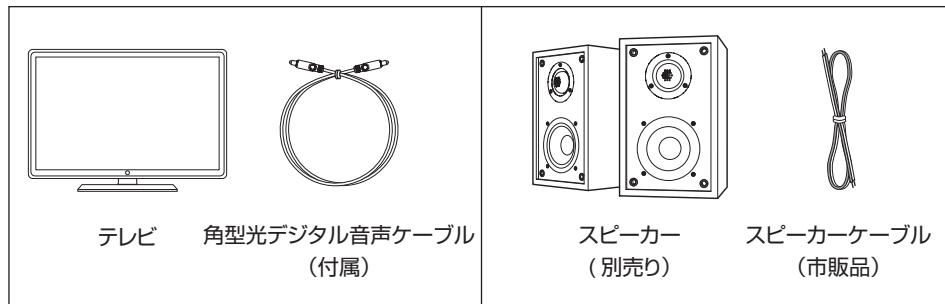
ラジオやテレビの音声に雑音が入ったり、画像が乱れたりする場合は、ラジオ、テレビ、チューナー、室内アンテナなどから本機を離して設置してください。

## 4 お手入れのしかた

お手入れには乾いた柔らかい布を使用してください。シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

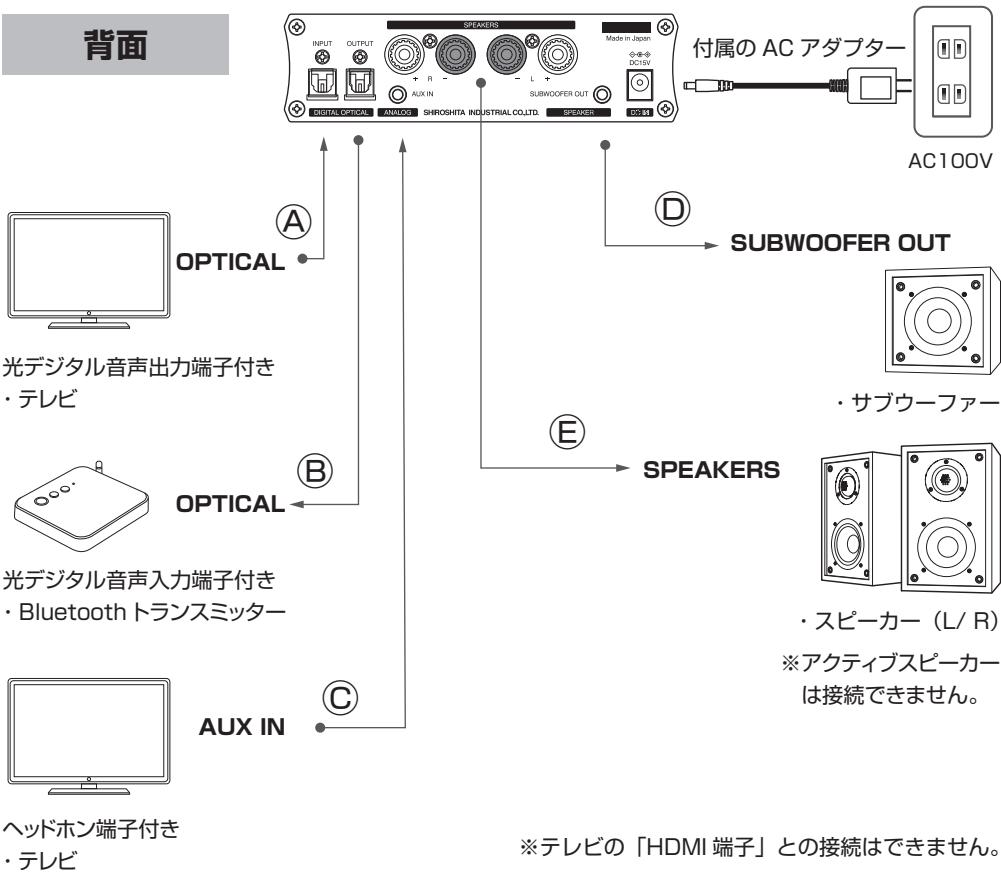
## 設定に必要なもの

本機はアンプ単体製品です。スピーカーを内蔵していないため、テレビの音を鳴らすには別途、外部スピーカー（別売）の接続が必要です。



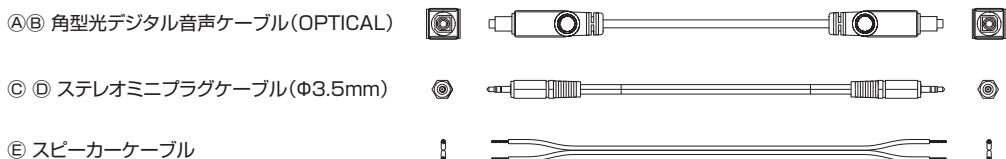
# 接続例

## 背面



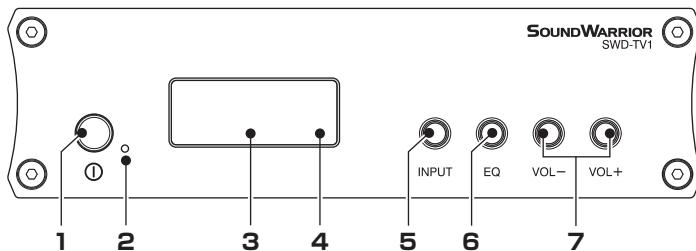
## 接続ケーブル

ご使用の外部機器に合わせて必要な接続ケーブルは別途ご用意ください。



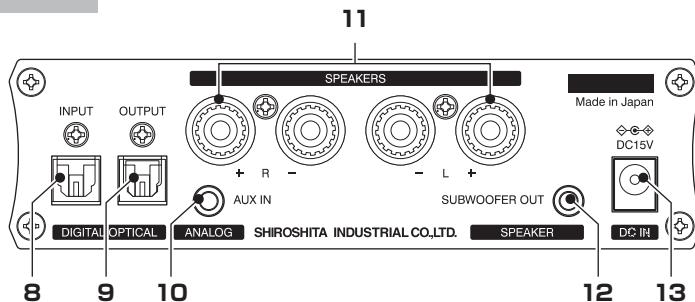
# 各部の名前

## 前面



- 
- 1. 電源スイッチ (①)** 電源の入／切をします。
- 
- 2. 電源ランプ** 電源が入ると点灯します。
- 
- 3. ディスプレイ** 各種情報を表示します。
- 
- 4. リモコン受光部** テレビのリモコン学習設定や学習後のリモコンの信号を受信します。
- 
- 5. INPUT** 入力ソース（入力音声信号）切替ボタン 光デジタル音声接続または  
アナログ音声接続のどちらかを選択します。  
・ OPT : 光デジタル音声接続の際に選択  
・ AUX : アナログ音声接続の際に選択
- 
- 6. EQ** EQ(イコライザー)ボタン 音質モードを切り替えます。  
・ 非表示 : イコライザーがオフになります。  
・ News (ニュースモード) : ニュースなど人の声が聴きやすくなります。  
・ Night (ナイトモード) : 深夜や周囲に配慮したい時に低音を弱めます。  
・ Bass (バスブースト) : 低音が強調されます。
- 
- 7. VOL-/VOL+** 音量調節ボタン 音量を調節します。  
・ VOL-: 音量を下げます。  
　　設定モードでは項目を戻るまたは値の変更をします。  
・ VOL+: 音量を上げます。  
　　設定モードでは次の項目への移動または値の変更をします。
-

## 背面



### DIGITAL OPTICAL

**8. INPUT** 光デジタル音声入力端子

テレビの光デジタル音声出力端子と接続します。

**9. OUTPUT** 光デジタル音声出力端子

Bluetooth トランスミッターなどの光デジタル音声入力端子付きの機器を接続します。

### ANALOG

**10. AUX IN** アナログ音声入力端子

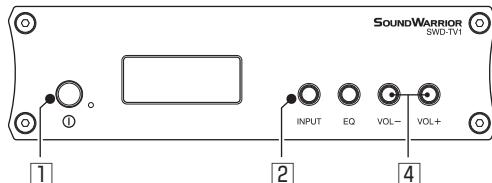
テレビのヘッドホン端子と接続します。

**11. SPEAKERS** スピーカー端子 スピーカーを接続します。

**12. SUBWOOFER OUT** アンプ内蔵サブウーファーを接続します。

**13. DC IN** 電源入力端子 付属の AC アダプターを接続します。

# 基本操作



## ① 電源を入れる

本体の電源スイッチを押して電源を入れます。電源が入ると電源ランプが点灯します。

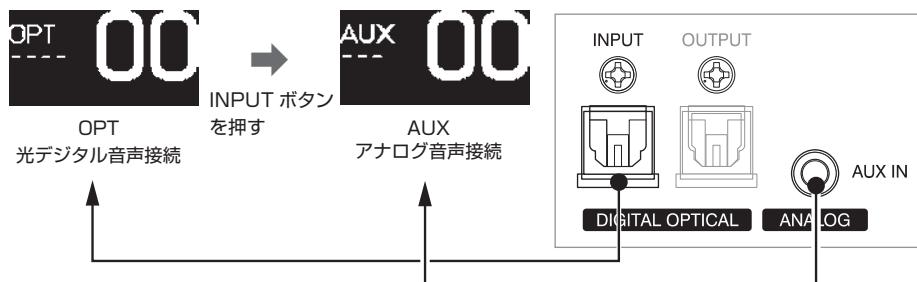
電源をオンにすると、ディスプレイに SOUNDWARRIOR のロゴと型番が表示された後に、「音声信号の情報」の表示になります。



## ② INPUT ボタンで入力ソースを選ぶ

INPUT ボタンを押して、入力端子の接続に合わせて入力ソースを選びます。選択中の入力ソースがディスプレイに表示されます。

INPUT ボタンを押すたびに、表示が切り替わり入力ソースを選択できます。



## ③ テレビで番組を見る

## ④ 音量を調節する

音量調節ボタン (VOL-/ VOL+) で音量を調節します。音量は数字で表示されます。

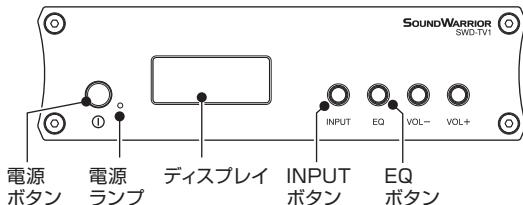
段階：00 (ミュート / 消音) ~ 50 (最大)

## ⑤ 電源待機について

テレビの電源を切り、無音状態が約 10 秒間（初期設定）続くと、自動的に待機モードへ移行します。待機モード中は、電源ランプが赤色に点灯します。

# ディスプレイ

「音声信号情報」や「設定モード / リモコン学習モード」のメニュー画面が表示されます。



## 電源ランプ

- ・赤色が点灯：待機状態
- ・緑色が点灯：電源 ON

## 音声信号情報

光デジタル音声 (OPT) またはアナログ音声 (AUX) の情報が表示されます。

入力ソース → OPT  
入力サンプリング周波数 → 48k  
EQ モード → News 00 ← 音量

### 【表示】

**入力ソース**：光デジタル音声 (OPT) またはアナログ音声 (AUX) を表示

**入力サンプリング周波数**：光デジタル音声 (OPT) の数値を表示

**EQ モード**：EQ ボタンを押し EQ モードにした場合、モード名を表示

**音量**：最大値は 50 で、数値で表示されます。消音時は数値が点滅します。

### ■光デジタル音声

・入力なし：———を表示

光デジタル音声 (OPT) →

入力なし →

OPT  
00

・入力あり：入力サンプリング周波数を表示

32kHz ~ 48kHz、96kHz、192kHz

入力あり

48kHz  
00

### ■アナログ音声

・入力なし：———を表示

アナログ音声 (AUX) →

入力なし →

AUX  
00

・入力あり：非表示

非表示 →

[ ]  
00

## EQ モード（イコライザー）

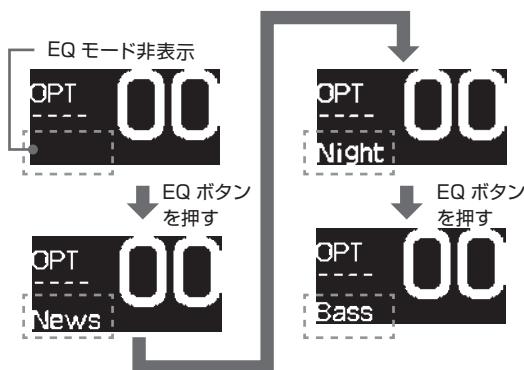
映像コンテンツや視聴環境に合わせて、「News（ニュース・人の声強調）」「Night（深夜・低音を弱める）」「Bass（低音強調）」の3種類の音質設定を選択できます。

### 【ご注意】

EQ モードの設定は「光デジタル音声（OPT）」は入力サンプリング周波数が 32kHz～48kHz の場合に限られます。「アナログ音声（AUX）」に制限はありません。

96kHz、192kHz の入力サンプリング周波数ではイコライザーは機能しません。

※ディスプレイに EQ モードが表示されても、音質補正は無効となります。



### EQ モード

EQ ボタンを押すごとにディスプレイに EQ モードが順に表示されます。

- ・オフ： EQ モードは非表示
- ・News： ニュースモード  
ニュース・人の声強調
- ・Night： ナイトモード  
深夜・低音を弱める
- ・Bass： バスブースト  
低音強調

## リモコン学習モード / 設定モード

INPUT ボタンを2秒以上長押しすると「リモコン学習モード / 設定モード」になります。

Learn Remote  
(リモコン学習モード)

→ Learn Remote  
Auto  
Press Now

Setting  
(設定モード)

→ Setting  
LED Bright  
10

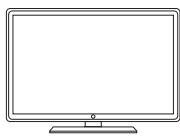
# 設定のしかた

## 接続可能なテレビ

本機は、以下のいずれかの音声出力端子を搭載しているテレビでご利用いただけます。

- ・光デジタル音声出力端子（推奨）
- ・ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）
- ・オーディオ出力端子（赤・白の RCA ピンジャック）

【ご注意】本機は HDMI 接続には対応しておりません。



テレビ



光デジタル音声出力端子



ヘッドホン端子



オーディオ出力端子  
(音声出力端子)

## 接続の前に

接続する端子によって、使用するケーブルやテレビ側の音声設定が異なります。ご使用のテレビの端子に合わせて、次ページ以降の各手順をご確認ください。

※テレビ側の端子の位置や設定名称については、お手持ちのテレビの取扱説明書も併せてご参照ください。

# 「光デジタル音声出力端子」搭載テレビ

「光デジタル音声出力端子」を搭載したテレビと、本機の接続・設定方法について説明します。テレビの取扱説明書もご確認ください。

## 1、AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを電源入力端子 (DC IN) に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。

## 2、テレビと接続する

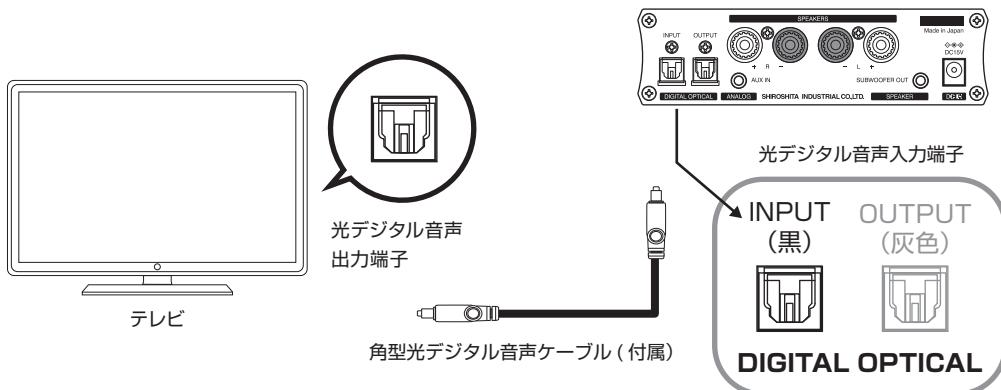
### 【接続に必要なケーブル】



角型光デジタル音声ケーブル (TOS-Link) を使用します。

※丸ピン型の光デジタル音声ケーブルは使用できません。

**接続する際は本機の電源を切ってください。**



付属の光デジタル音声ケーブルを、テレビの「光デジタル音声出力端子」に差し込み、本機の黒色の蓋の「光デジタル音声入力端子」(INPUT : DIGITAL OPTICAL) に差し込んでください。

※付属の光デジタル音声ケーブルの先端の保護キャップを外してください。

※光デジタル端子の四角い蓋は、ケーブルを差し込むことで内側に開く構造になっています。

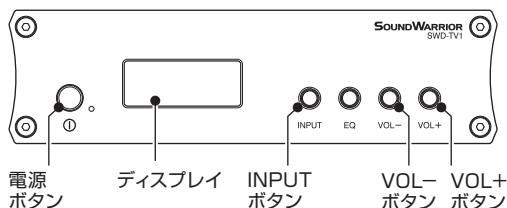
ケーブルの先端を差し込み、奥で止まるまで確実に押し込んでください。

### 3、【重要】テレビの音声設定をする

光デジタル音声接続を行う場合、テレビ側の設定を必ず「PCM」にしてください。それ以外の設定（オートなど）では、ノイズが発生する原因となります。設定方法はメーカーにより異なります。以下を参考に、詳細は各機種の説明書をご参照ください。

メーカー	設定手順
シャープ	[ツール] — [基本設定] — [音声入出力] — [デジタル音声出力設定] — [PCM]
ソニー	[設定] — [画面と音声] — [音声出力] — [デジタル音声出力設定] — [PCM 固定]
パナソニック	[設定] — [音声調整] — [デジタル音声出力] — [PCM]
東芝 (REGZA)	[設定] — [音声設定] — [音声詳細設定] — [デジタル音声出力] — [PCM]
TVS REGZA	
三菱電機	[光音声 / ARC 出力設定] — [PCM]
日立	[メニュー] — [各種設定] — [音声設定] — [光デジタル音声出力] — [PCM]
船井電機	[機能設定] — [音声設定] — [デジタル音声出力] — [PCM]
ハイセンス	[音声設定] — [音声詳細設定] — [PCM]
LG エレクトロニクス	[スマートホーム] — [設定] — [音声] — [スピーカー設定] — [外部スピーカー] — [デジタル音声出力] — [PCM]

### 4、本機の設定をする



- ① 電源を入れる  
本機の電源スイッチを押します。
- ② 入力ソースの切替  
INPUT ボタンを押して、「OPT」を選択してください。
- ③ 本機の音量調節ボタン (VOL-/ VOL+) で音量を調節します。

※「リモコン学習」モードで 本機にテレビのリモコンボタンを学習させることで、テレビのリモコンで本機を操作できます。➡参照 P24

※「リモコン学習」では入力ソースの切替の設定はできません。本体の INPUT ボタンで切り替えてください。

# 光デジタル音声接続での音量調節について

「リモコン学習」させたりモコンで、操作時にテレビ画面の音量メーターが動く場合がありますが、本機の音量とは異なります。正確な音量は、本機側の数値をご確認ください。

## テレビからも音が聞こえる

テレビのスピーカーからも音が出ていて聞きにくい場合は、下記の対策をお試しください。

### 1、外部スピーカー設定

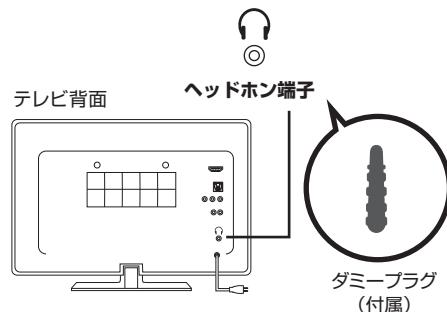
「スピーカー切換」などの設定がある場合は、テレビスピーカーではなく、「外部スピーカー」や「オーディオシステム」などを選択してください。

### 2、スピーカーとイヤホン音声の同時出力

スピーカーとイヤホンの両方から音声ができる「音声の同時出力」設定がある場合は、「しない」を選択してください。

### 3、付属のダミープラグ

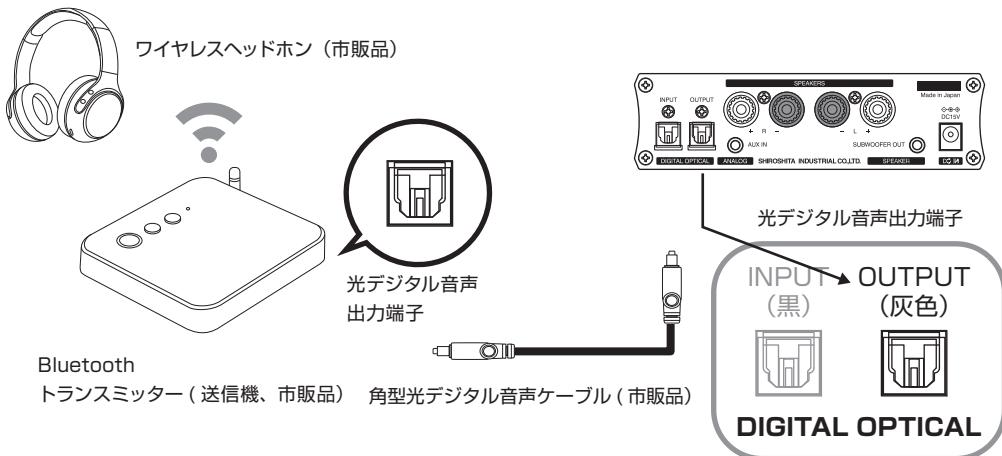
上記の設定をしても解決しない場合は、付属のダミープラグをヘッドホン端子に差し込んでください。



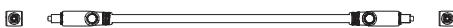
# 光デジタル音声出力端子について

Bluetooth トランスミッターを接続すれば、スピーカーと同時に Bluetooth ヘッドホンで音声を聞くことができます。

この機能をお使いになるには、テレビの光デジタル音声出力端子への接続が必要です。ヘッドホン端子（アナログ音声出力）に接続されている場合は、本機能をご利用いただけません。



## 【接続に必要なケーブル】



角型光デジタル音声ケーブル (TOS-Link) を使用します。

※丸ピン型の光デジタル音声ケーブルは使用できません。

## 【注意】

OUTPUT (光デジタル音声出力端子) に接続してください。※灰色の端子

Bluetooth トランスミッター（送信機）をご用意ください。Bluetooth レシーバー（受信機）は使用できません。

## 【光デジタル音声出力端子】

入力された光デジタル音声信号を、そのまま出力（スルー出力）します。

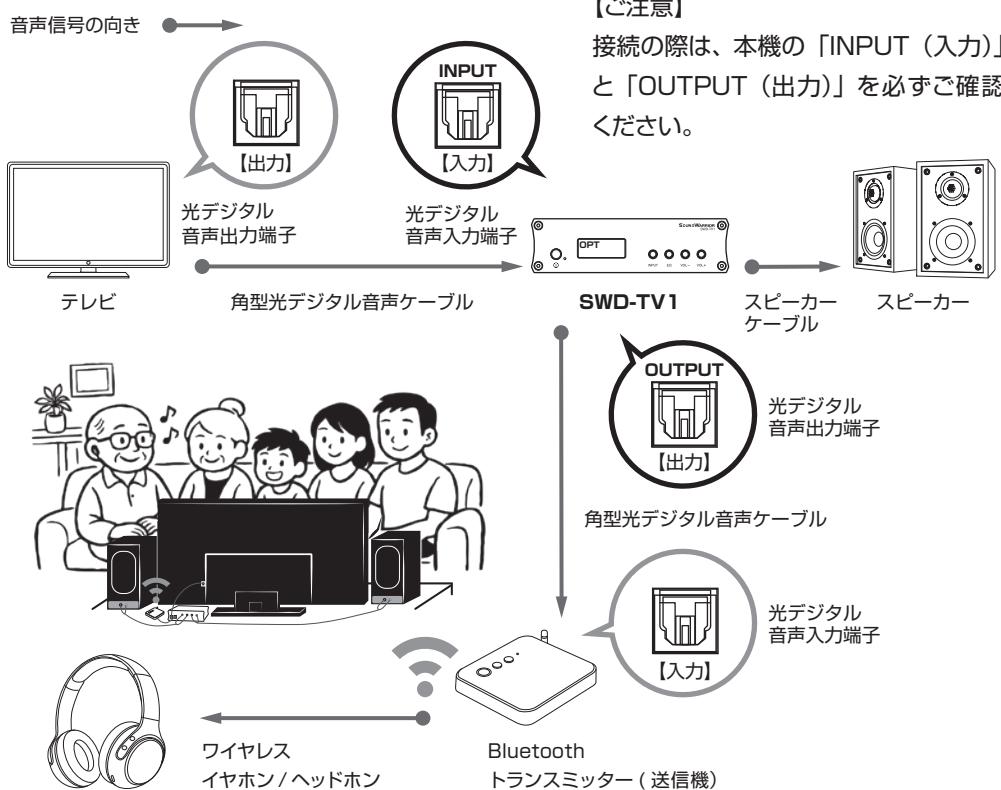
「設定モード」の「Stby Optical」が ON (初期設定) であれば、本機が待機状態のときでも出力されます。

※「Auto Standby」を OFF に設定した場合、「リモコン学習」済みのリモコンの電源ボタンで本機を待機状態にすると出力されません。➡「設定モード」参照 P27

## 使用例

### 家族はスピーカーで、一人でワイヤレスイヤホンを利用する

ご家族はスピーカーから、ご本人は手元のワイヤレスイヤホンから、それぞれ同時に聴くことができます。なお、スピーカーとイヤホンの間では音声にわずかなズレ（遅延）が生じる場合があります。



### 一人でワイヤレスヘッドホンを利用する

Bluetooth ヘッドホン / イヤホンのみで音声を楽しみたい場合は、テレビのリモコンで「消音」に設定してください。

「リモコン学習」が利用できない場合は、本機の音量を最小（ゼロ）に調節してください。

「リモコン学習」の手順については、P24 をご覧ください。



# 「ヘッドホン端子」搭載テレビ

「ヘッドホン端子」を搭載したテレビと、本機の接続・設定方法について説明します。  
テレビの取扱説明書もご確認ください。

## 1、ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを電源入力端子(DC IN)に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。

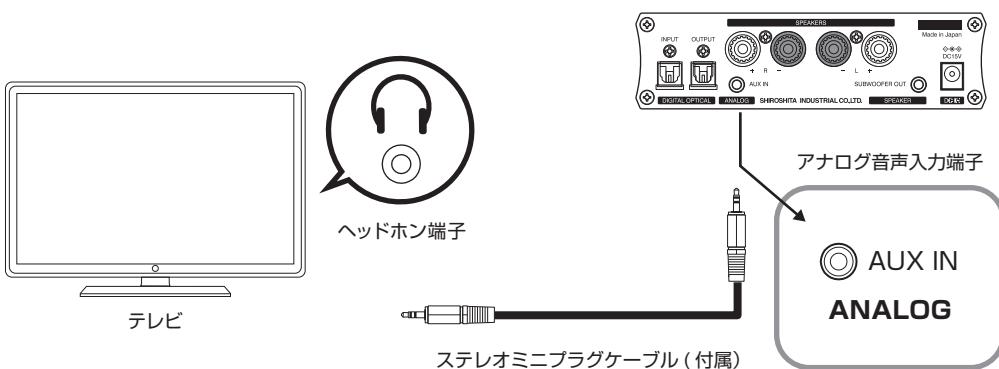
## 2、テレビと接続する

### 【接続に必要なケーブル】



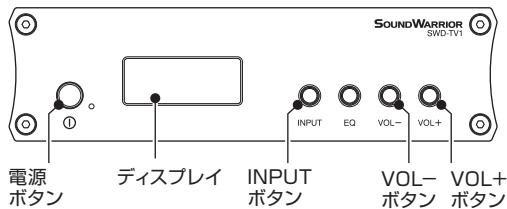
付属のステレオミニプラグケーブル(Φ3.5mm)を使用します。

**接続する際は本機の電源を切ってください。**



付属のステレオミニプラグケーブルをテレビの「ヘッドホン端子」に差し込み、もう片方を本機のアナログ音声入力端子(AUX IN : ANALOG)に差し込んでください。

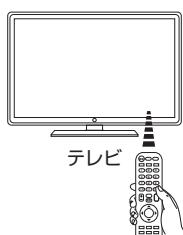
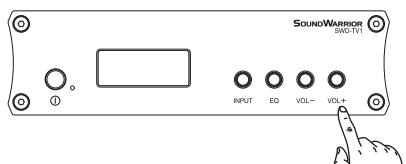
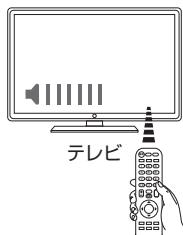
### 3. 本機の設定をする



- ① 電源を入れる  
本機の**電源スイッチ**を押します。
- ② 入力ソースの切替  
**INPUT ボタン**を押して、「AUX」を選択してください。
- ③ 音量調節をする  
テレビで番組をつけ音量調節をします。  
詳しい設定については下記をご覧下さい。

#### 【重要】ヘッドホン端子接続での音量調節について

音量調節は、テレビ側のリモコンをご利用ください。操作の簡略化のため、本機の「リモコン学習」は使用せずに使いいただくことをおすすめします。



- ① テレビの音量を設定する テレビの音量を、目安として 50%~80%（中程度）に設定します。  
※テレビの音量が大きすぎると、音が歪む場合がありますのでご注意ください。
- ② テレビ側で調節しやすいように、本機の音量を設定します。本機の音量調節ボタン（**VOL-** / **VOL+**）を操作し、常用する音量に調節します。
- ③ 一度設定した後は、テレビのリモコンだけ  
で音量を調節してください。

# 「オーディオ出力端子（音声出力端子）」搭載テレビ

「オーディオ出力端子（音声出力端子）」を搭載したテレビと、本機の接続・設定方法について説明します。テレビの取扱説明書もご確認ください。

## 1、AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを電源入力端子 (DC IN) に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。

## 2、テレビと接続する

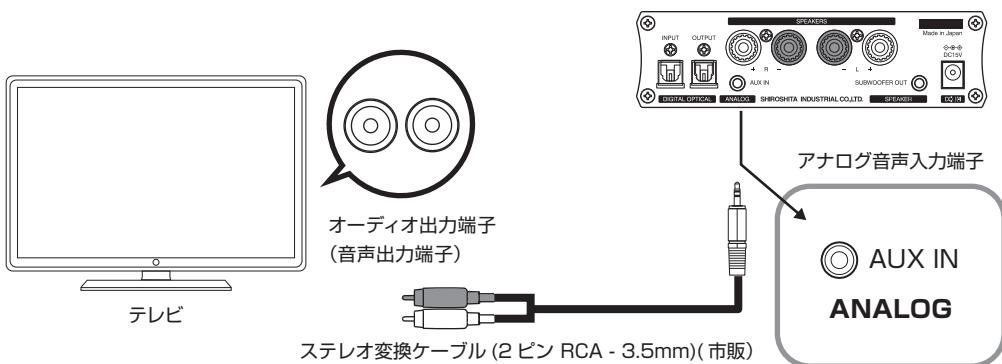
### 【接続に必要なケーブル】



市販のステレオ変換ケーブル（2ピン RCA - 3.5mm）を使用します。

片側がピンプラグ、もう片側がステレオミニプラグになっているケーブルです。

**接続する際は本機の電源を切ってください。**

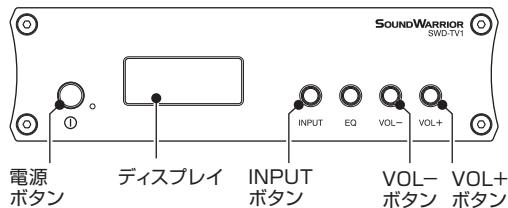


① 接続する際は本機の電源を切ってください。

市販のステレオ変換ケーブル（2ピン RCA - 3.5mm）の赤（R）・白（L）のピンプラグを、テレビの「オーディオ出力端子（音声出力端子）」の色と合わせて接続します。

② ケーブルのステレオミニプラグを本機のアナログ音声入力端子（AUX IN : ANALOG）に差し込んでください。

### 3. 本機の設定をする



- ① 電源を入れる  
本機の**電源スイッチ**を押します。
- ② 入力ソースの切替  
**INPUT ボタン**を押して、「AUX」を選択してください。
- ③ 本機の音量調節ボタン (**VOL-/ VOL+**)  
で音量を調節します。

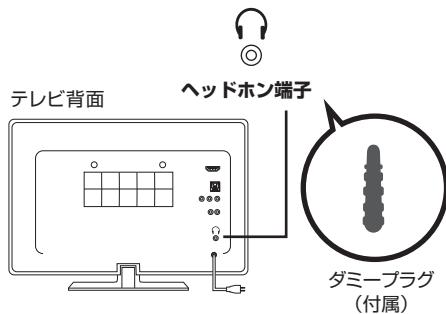
※「リモコン学習」モードで 本機にテレビのリモコンボタンを学習させることで、テレビのリモコン  
で本機を操作できます。➡参照 P24

※「リモコン学習」では入力ソースの切替の設定はできません。本体の INPUT ボタンで切り替  
えてください。

### テレビからも音が聞こえる

テレビのスピーカーからも音が出ていて聞きにくい場合は、下記の対策をお試しください。

・付属のダミープラグをヘッドホン端子に差し込んでください。



# スピーカーを接続する

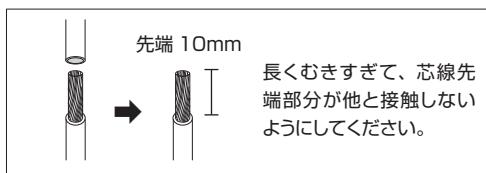
本機とスピーカーを市販のスピーカーケーブルで接続します。接続する際は本機の電源を切ってください。スピーカーはインピーダンス  $4\Omega \sim 8\Omega$  のものをご使用ください。

## 【接続に必要なケーブル】



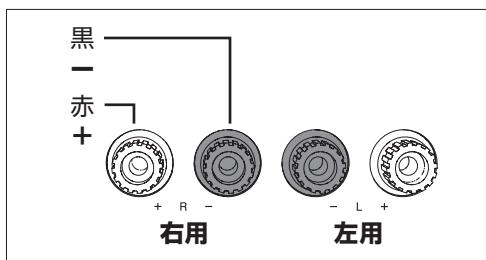
市販のスピーカーケーブルを使用します。

ケーブルは赤と黒の2本1組で、それぞれ「プラス(赤)」と「マイナス(黒)」です。アンプとスピーカーの端子の色を合わせて、極性(プラス同士・マイナス同士)が正しく重なるように接続します。



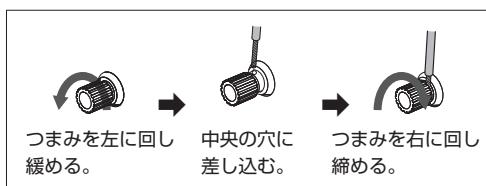
### ① スピーカーケーブルの先端

ケーブル先端の被覆(絶縁部)を約10mmむき、芯線をしっかりとよじります。



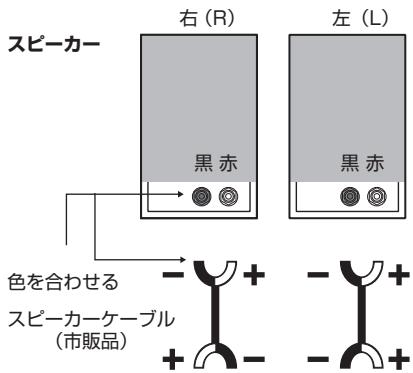
### ② スピーカー端子の確認

スピーカー端子の確認 本機には右用(R)と左用(L)の端子があり、それぞれに「+(赤)」と「-(黒)」の極性があります。接続の際は、端子の色とスピーカーケーブルの色を正しく合わせてください。



### ③ スピーカーケーブルの接続

- ・端子のつまみを左に回してゆるめます。
- ・芯線を露出した金属部中央の穴に差し込みます。
- ・端子のつまみを右に回してしっかりと締め付けます。

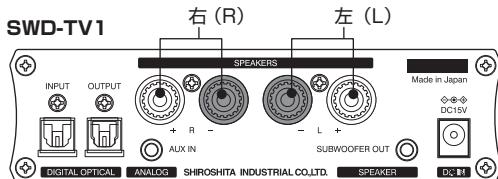


#### ④ 本機への接続

左右を間違えないよう注意し、極性が正しくなるようにケーブルを差し込んでください。

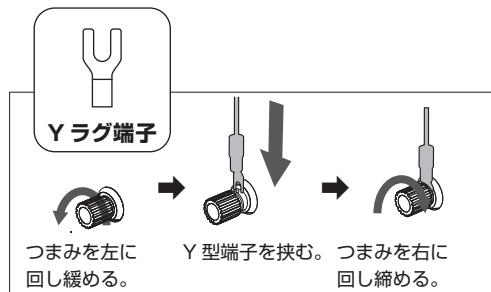
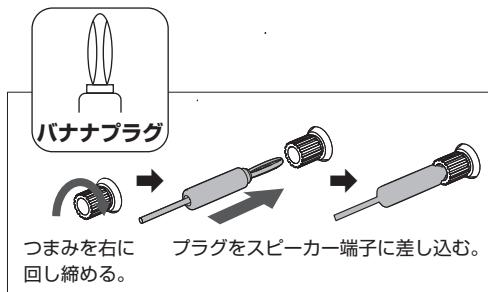
#### ⑤ スピーカー側への接続

スピーカー側も同様に、「+(赤)」と「-(黒)」の極性を本体の端子と合わせて接続してください。



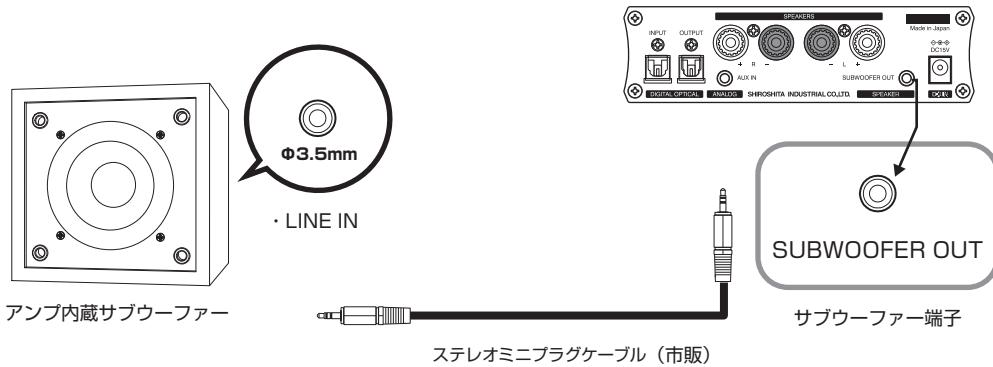
※スピーカー以外の機器を接続しないでください。故障の原因になる場合があります。

※抜き差しが簡単なバナナプラグや Y ラグ端子を使用して接続することもできます。



## サブウーファーを接続する

本機とアンプ内蔵サブウーファーの接続は、サブウーファー側の端子形状を確認し、適切なケーブルをご使用ください。接続する際は本機とサブウーファーの電源を切ってください。



### 【接続に必要なケーブル】



市販のステレオミニプラグケーブル（Φ3.5mm）を使用します。

# テレビリモコンでの操作設定

テレビのリモコン信号を本機に学習させることで、テレビのリモコンで本機の電源操作と音量調節をおこなうことができます。

あらかじめ本機に登録されている対応メーカーは、「リモコン自動学習モード」で簡単に設定できます。

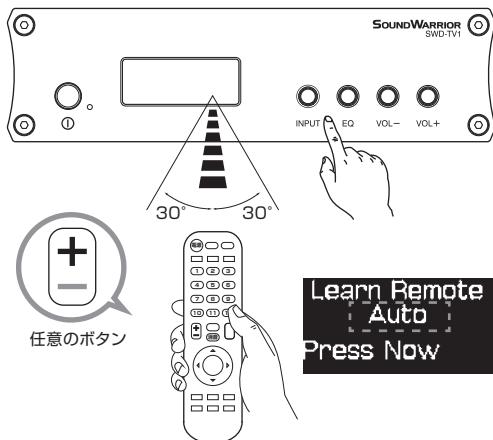
## ■ 対応メーカー

シャープ、ソニー、パナソニック、東芝 (REGZA)、三菱電機、日立、船井電機、ハイセンス、TVS REGZA、LG エレクトロニクス

### 【ご注意】

- ・対応メーカー以外のテレビのリモコンは設定できません。
- ・リモコン学習機能は、テレビのリモコンが赤外線方式の場合に限りご使用いただけます。Bluetoothなどの電波方式 (RF方式) のリモコンには対応しておりません。
- ・本機のリモコン学習機能は、すべてのテレビ操作を保証するものではありません。テレビの機種やリモコンの信号方式によっては、学習 (設定) ができない場合があります。

## 1、リモコン自動学習モード



「Try Again」と表示された場合はボタンを再度押し直してください。



### ① 設定モード

本機の INPUT ボタンを 2 秒以上長押し「設定モード」にします。

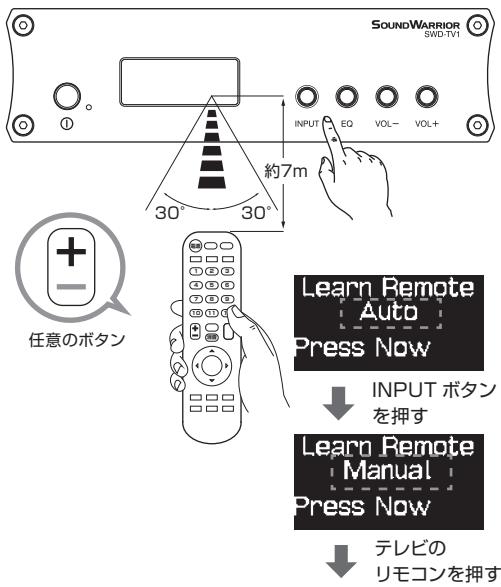
ディスプレイの表示がリモコン自動学習モード「Learn Remote Auto (Press Now)」になります。

② テレビのリモコンを本機のリモコン受光部に向けます。次に、リモコンのボタン（「音量+」ボタンなど）を 1 回押してください。

③ リモコンの「電源」、「音量+」、「音量-」、「消音」ボタンに設定が自動で割り当てられます。

## 2、リモコン手動学習モード

リモコンのボタンと本機の機能の割り当てを手動で設定したい場合は、「リモコン手動学習モード」で設定します。「音量+」「音量-」「消音」「電源」の順に設定していきます。



### 各設定へ

#### ① 設定モード

本機の **INPUT** ボタンを 2 秒以上長押しして「設定モード」にします。

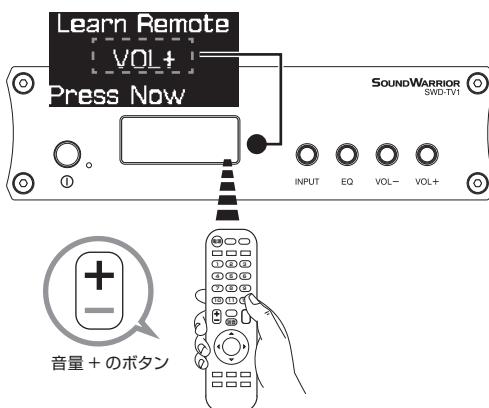
② ディスプレイの表示がリモコン自動学習モード「Learn Remote Auto (Press Now)」になります。

#### ③ リモコン手動学習モード

もう一度、本機の **INPUT** ボタンを押すと、リモコン手動学習モード「Learn Remote Manual (Press Now)」へ移行します。

④ テレビのリモコンを本機のリモコン受光部に向けます。次に、リモコンのボタン（「音量+」ボタンなど）を 1 回押してください。各設定に移動します。

**テレビのリモコン操作を本機に学習させます。**

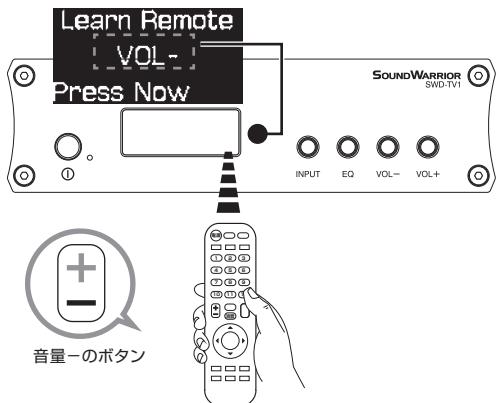


#### 【音量+】の設定

① ディスプレイ表示が Learn Remote 【VOL+】になっているのを確認します。

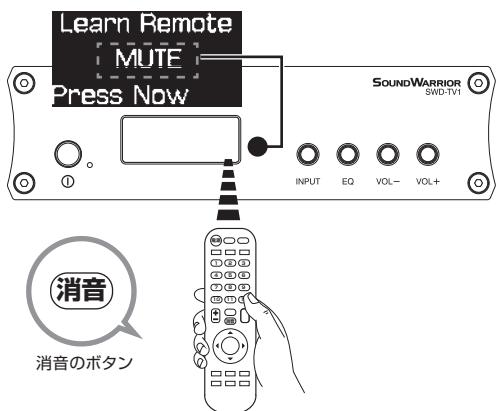
② テレビのリモコンを本機のリモコン受光部に向け、「音量+」機能を割り当てるリモコンのボタンを押します。

③ 正しく記憶されると次の設定に移ります。



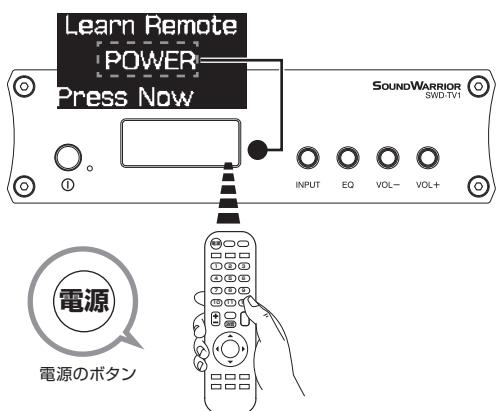
### 【音量ー】の設定

- ① ディスプレイ表示が Learn Remote 【VOL-】になっているのを確認します。
- ② 「音量ー」機能を割り当てたいリモコンのボタンを押します。
- ③ 正しく記憶されると次の設定に移ります。



### 【消音】の設定

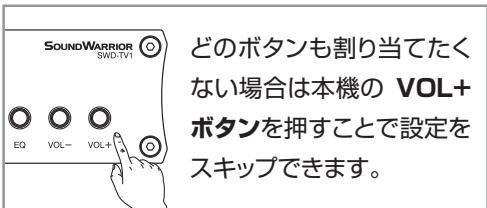
- ① ディスプレイ表示が Learn Remote 【MUTE】になっているのを確認します。
- ② テレビのリモコンを本機のリモコン受光部に向かって、「消音」機能を割り当てたいリモコンのボタンを押します。
- ③ 正しく記憶されると通常の表示に戻ります。



### 【電源】の設定

- ① ディスプレイ表示が Learn Remote 【POWER】になっているのを確認します。
- ② テレビのリモコンを本機のリモコン受光部に向かって、「電源入切」機能を割り当てたいリモコンのボタンを押します。
- ③ 正しく記憶されると通常の表示に戻ります。

**Learn Remote Manual**  
Try Again  
「Try Again」と表示された場合はボタンを再度押し直してください。



# 設定

- ① INPUT ボタンを約 2 秒押し続けると、各種機能を設定できる設定モードになります。
  - ② INPUT ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります。
  - ③ 音量調節ボタン（VOL-/ VOL+）で設定値を変更します。
- ※設定値は電源を切っても記憶されます。

## Learn Remote : リモコン学習モード

テレビのリモコン操作を本機に記憶させる（学習させる）際の設定モード

表示	設定項目	設定値
Learn Remote Auto Press Now	Auto リモコン自動学習	テレビのリモコンのメーカーコードを判別し、本機の電源、音量+、音量-、消音の各キーを自動で設定します。
Learn Remote Manual Press Now	Manual リモコン手動学習	リモコンのボタンと本機の機能の割り当てを自分で決めたい場合に手動で設定します。

## Setting: 設定モード

各種機能の設定モード

表示	設定項目	設定値
Setting LED Bright 10	LED Bright 電源ランプの輝度	0 (消灯)、1 (暗い)～20 (明るい) の間で変更します。 初期値：10
Setting Disp Bright 50	Disp Bright ディスプレイの輝度	0 (暗い)～100 (明るい) の間で変更します。 初期値：50
Setting Disp Timeout 1min	Disp Timeout 無操作時の画面消灯時間	OFF : 画面消灯を無効にします。 1min、30min、60min : 最後の操作から画面消灯までの時間を設定できます（1分、30分、60分） 初期値：1min (1分)
Setting Auto Standby 10sec	Auto Standby 無音時に自動で待機になる時間	OFF : 無効 5sec、10sec、30sec、60sec: (5秒、10秒、30秒、60秒) 初期値：10sec (10秒)
Setting Stby Optical OFF	Stby Optical スタンバイ時に Optical 入力をスルー出力します。 入力をスルー出力	OFF : 無効 (初期値) ON : 有効
Setting Relay Mute ON	Relay Mute リレーによるミュート	OFF : 電源投入時と切断時のみ作動します。 ON : 全てのミュート時に作動します。 (初期値)
Setting Amp Low EMI OFF	Amp Low EMI アンプ低 EMI モード	OFF : 無効 (初期値) ON : 有効
Setting Sub Out Mode Stereo	Sub Out Mode サブウーファー出力の切り替え	Stereo : ステレオで出力 (初期値) Mono : モノラルで出力

# お困りの時は

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。  
対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、販売店にご相談ください。

## 【光デジタル音声出力端子】搭載テレビ ※テレビの取扱説明書もご確認ください。

### ■ 音が出ない

本機とテレビの音声の出力方法が正しく設定されていません。

【TV】音声出力設定でデジタル出力「PCM」が選択されているかを確認してください。

【本機】ディスプレイに「OPT」と表示されているかを確認してください。→参照 P13

本機とテレビが正しく接続されていません。

接続ケーブルを奥まで挿してください。

接続ケーブル端子の保護キャップを外しているか再度確認してください。

【本機】INPUT（デジタル入力端子）に接続しているかを確認してください。

スピーカーが正しく接続されていません。

ケーブルの芯線がスピーカー端子の中央穴に差し込まれ、端子がしっかりと締められているか確認してください。

### ■ テレビからも聞こえる

テレビの内蔵スピーカーからも音声が出てい  
る。

【TV】テレビの設定をご確認ください。

- ・スピーカー出力設定を「外部音声機器」に  
する。
- ・「音声同時出力」などをオフにする。
- ・付属のダミープラグをヘッドホン端子に差し  
込んでください。

### ■ 音声にノイズが混じる

テレビの音声設定が PCM（光デジタル音声  
出力）以外を選んでいる。

【TV】音声設定でデジタル出力「PCM」が  
選択されているかを確認してください。ドル  
ビーデジタル、DTS、AACなどのリニア  
PCM以外の信号は入力すると雑音が発生す  
るので入力しないでください。

### ■ EQ モードが効いていない

EQ モードが対応するサンプリング周波数は  
48kHz までです。

48kHz を超える入力には対応しておりま  
せんのでご注意ください。

## 【ヘッドホン端子】搭載テレビ

※テレビの取扱説明書もご確認ください。

### ■ 音が出ない

本機とテレビの音声の出力方法が正しく設定されていません。	【本機】ディスプレイに「AUX」と表示されているかを確認してください。➡参照 P18
本機とテレビが正しく接続されていません。	接続ケーブルを奥まで挿してください。 【TV】ヘッドホンマークの付いている端子に接続しているかを確認してください。
スピーカーが正しく接続されていません。	【本機】AUX IN( アナログ入力端子) に接続しているかを確認してください。 ケーブルの芯線がスピーカー端子の中央穴に差し込まれ、端子がしっかりと締められているか確認してください。

### ■ 音量が小さい

テレビの音量が小さすぎたり消音になっています。	【TV】テレビの音量を中程度（目安として最大音量の半分程度）に設定し、本機の音量も設定してください。➡参照 P18
-------------------------	---

### ■ 音声にノイズが混じる

テレビの音量が小さすぎるまたは大きすぎる。	【TV】テレビの音量を中程度（目安として最大音量の半分程度）に設定してお使いください。テレビ側の音量が小さすぎたり大きすぎたりすると、ノイズが発生することがあります。
-----------------------	---

## 【オーディオ出力端子（音声出力端子）】搭載テレビ

※テレビの取扱説明書もご確認ください。

### ■ 音が出ない

本機とテレビの音声の出力方法が正しく設定されていません。	【本機】ディスプレイに「AUX」と表示されているかを確認してください。➡参照 P20
本機とテレビが正しく接続されていません。	接続ケーブルを奥まで挿してください。 【本機】AUX IN( アナログ入力端子) に接続しているかを確認してください。
スピーカーが正しく接続されていません。	ケーブルの芯線がスピーカー端子の中央穴に差し込まれ、端子がしっかりと締められているか確認してください。

### ■ 音量が小さい

テレビの音声出力が「可変」になっている。	【TV】音声出力を「固定」にしてください。
----------------------	-----------------------

## ■ テレビからも聞こえる

テレビの内蔵スピーカーからも音声が出てい  
る。

【TV】テレビの設定をご確認ください。

- ・スピーカー出力設定を「外部音声機器」に  
する。
- ・「音声同時出力」などをオフにする。
- ・付属のダミープラグをヘッドホン端子に差し  
込んでください。

## リモコン学習について

### ■ テレビのリモコン学習ができない

対応メーカー以外のリモコンを使用している。

リモコン学習ができるのは「対応メーカー」  
のみテレビのリモコンです。➔参照 P24

Bluetooth など電波（RF）方式のリモコン  
を使用している。

リモコン学習ができるのは「赤外線方式」の  
テレビのリモコンです。

### ■ 特定のボタンの動作がおかしい

リモコンボタンの設定コードが異なっている。

「リモコン手動学習モード」で個別に設定して  
ください。➔参照 P25

### ■ リモコンのボタン操作を消去したい

手動学習モードで設定をやり直します。

「リモコン手動学習モード」で消去したいボタ  
ン設定を、「VOL+」ボタンを押しスキップし  
てください。➔参照 P25

## 電源の待機モードについて

### ■ 電源の待機モードが切れるのが早い

「設定モード」の「Auto Standby」設定が  
初期値 10 秒になっている。

「設定モード」の「Auto Standby」設定を  
変更してください。➔参照 P27

### ■ テレビのリモコンで待機にしたい

「設定モード」の「Auto Standby」設定を  
OFF にします。

「Auto Standby」設定が OFF の時のみ、リ  
モコンの電源ボタンで待機にできます。OFF  
以外の時は自動で待機状態になるため、リモ  
コンの電源ボタンで待機にすることはできま  
せん。➔参照 P27

## ■ 音が出ない

本機が正しく接続されていません。

接続ケーブルを奥まで挿してください。

トランスマッター（送信機）ではなくレシーバー（受信機）を使用している。

接続ケーブル端子の保護キャップを外しているか再度確認してください。

正しくペアリングされていない。

【本機】OUTPUT（デジタル出力端子）に接続しているかを確認してください。

トランスマッター（送信機）を接続してください。

Bluetooth トランスマッター（送信機）とワイヤレスイヤホンのペアリングをやり直してください。

## 主な仕様

### ■ 一般

電源  
消費電力  
外形寸法  
本体質量  
動作温度環境

AC100V 50/60Hz (AC アダプター)、DC 15 V (本体)  
最大 35W、待機時 1W 以下  
146.6 mm (W) × 40 mm (H) × 165.6 mm (D) (突起物含まず)  
0.7 kg  
5 ℃～40 ℃

### ■ デジタル入力

**OPTICAL 端子**  
信号規格  
サンプリング周波数  
量子化ビット数

角型光コネクタ (TOS-Link)  
S/PDIF (IEC-60958) 2ch リニア PCM  
32 / 44.1 / 48 / 96 / 192 kHz  
※88.2kHz 以上 EQ モード無効  
16 bit

### ■ アナログ入力

**アナログ端子**

AUX 入力 : Φ3.5mm ステレオミニジャック

### ■ デジタル出力

**OPTICAL 端子**  
信号規格  
サンプリング周波数  
量子化ビット数

角型光コネクタ (TOS-Link)  
S/PDIF (IEC-60958) 2ch リニア PCM  
32 / 44.1 / 48 / 96 / 192 kHz  
16 bit

### ■ アナログ出力

**SPEAKERS 端子**  
最大出力  
適合スピーカーインピーダンス

4mm バナナプラグ対応端子  
11W+11W (1kHz, 8Ω、光デジタル入力、付属 AC アダプタ使用時)  
4 Ω～8 Ω

### **SUBWOOFER 端子**

定格出力

Φ3.5mm ステレオミニジャック  
0.93Vrms (1kHz、光デジタル入力、0dBFS)

型番：SWD-TV1

保証期間：ご購入日より1年

# 保証規定

For Japan Only

- 1、正規販売店で新品としてご購入された製品が対象となります。
- 2、本製品を取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合に限り、保証期間内であれば無償で修理いたします。
- 3、次にあげる場合には、保証期間内でも本保証の対象外となります。
  - 1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷の場合。
  - 2) お客様による輸送・移動時の落下、衝撃などによる故障、破損の場合。
  - 3) 当社および当社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
  - 4) 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
  - 5) 通常想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
  - 6) 本製品と接続した他の機器に起因して本製品に生じた故障の場合。
  - 7) 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
  - 8) 識別ラベル、シリアル番号、または安全ラベルが除去または変更された場合。
  - 9) 製品購入日（保証開始日）と販売店が分かる書類（レシート・納品書等）のご提示がない場合。
- 4、本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責を負わないものとします。
- 5、消耗・摩耗した部品、その他の付属品及び本製品に接続したソフトウェアやデータなどは保証いたしかねます。
- 6、修理依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 7、本保証は日本国内においてのみ（本製品が日本国内で購入され、日本国内で使用された場合においてのみ）有効です。

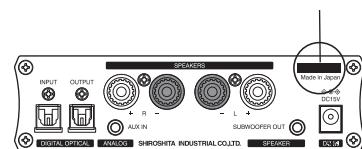
This Warranty only applies to Products purchased and used in Japan.

● 製品のシリアル番号をお確かめの上、下記の欄にご記入ください。

シリアル番号ラベル:本体背面

シリアル番号

ホームページのサポートページには  
よくある質問（FAQ）などが掲載されています。  
<https://soundwarrior.jp/support/>



## アフターサービス

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。お困りの場合は公式サイトからメールをお送りいただか、またはお電話でお問い合わせください。

■メールでのお問い合わせ <https://soundwarrior.jp/contact/>

■お問い合わせ窓口(城下工業) TEL: 03-6801-5355 平日10時～17時（土日祝祭日を除く）

1、保証期間中の修理をご希望の際は、製品購入日がわかる書類（レシートや領収書）をご提示の上、下記の事項を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。● 型番、シリアル番号（上記イラストを参照）、氏名、電話番号、住所、メールアドレス、故障状況とご使用の環境

2、保証期間が過ぎ修理が可能な場合は、有償にて承ります。お買い上げの販売店へご相談ください。



お問い合わせ

**SOUNDWARRIOR**  
<https://soundwarrior.jp/>



製造元

SHIROSHITA

城下工業株式会社  
SHIROSHITA INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒386-0015 長野県上田市常入 1-1-58

Printed In Japan  
18QA0425AN